

～ピースおおさか見学会のご案内～

今のピースおおさか
戦争の真実を伝えている？

ほんとに平和の大切さ
学べるの？

いっぺんきちんと
見てみよう！！

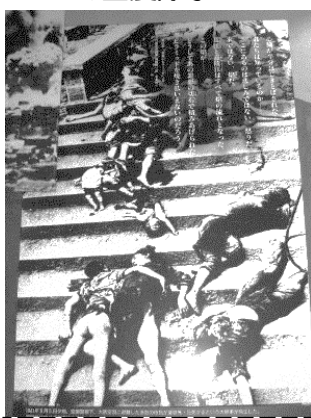
ピースを取り戻す会
の方が説明して下さるよ！



リニューアル前のピースおおさかは…

1991年、「新しい世代にわたくしたちの戦争体験を正しく伝え、平和への誓いと祈りを共に確かめあう場」として大阪府平和祈念戦争資料室の理念を引き継いで「ピースおおさか」は開設された。2015年4月30日の改悪リニューアルまでは、反戦・平和学習の砦のような存在だった。子どもたちを「ピースおおさか」に連れて行くことができれば、子どもたちは、戦争の事実から戦争をにくみ、戦争に反対する気持ちをもってくれるのではないかと期待できる存在だった。

撤去された展示の一例
「重慶爆撃」



1941年6月5日、日本軍の空爆により、大防空壕に避難した多数の市民が、窒息死・圧死するという大惨事が発生。大阪空襲・東京空襲などの都市無差別爆撃はこの重慶爆撃がブーメランのように返ってきたものと言われている。

今のピースおおさかは…

松井知事、橋下市長らの介入による改悪リニューアルによって、侵略・加害の事実、広島・長崎、沖縄の民衆の無残な被害の事実を示す資料が撤去され、日本が行った戦争を日本の国益を守るためにやむを得ず行った戦争と描き、その下で『立派な少国民』として、戦争に協力し、空襲にも精いっぱい対応した子どもの姿を展示するというものに変えられた。空襲の被害展示はあるものの、全体として、戦争の非人間性に対する怒りや教育勸諭・奉安庫など子どもたちを戦争に駆り立てたものに対する怒り・反省のまったくないものに変えられた。今や戦争協力への下地をつくるためのものへと変質されている。



私たちの願い

戦争は最大の人権侵害です。明治以降の日本の侵略政策が、日本の戦没者310万人、アジア太平洋地域で2000万人以上の犠牲者を出して日本の敗戦で終わり、戦争を2度としないことを誓った平和憲法ができました。私たちは、戦争が国内外の人々にとっていかにひどいものであったか、その非人間性、悲惨さを伝え、戦争をにくみ、戦争に反対する気持ちを育てる反戦・平和教育の重要性を認識し、その実践のために努力してきました。そんな営みを絶やしてはなりません。

ピースおおさか見学会

7月27日【金】10:00～12:00

- 集合：9:50 ピースおおさか入口前
- 主催：2018ZENKO in 大阪教育分科会実行委員会
- 協力：設置理念に則ったピースおおさかを取り戻す会
【略称：ピースを取り戻す会】
- 入場料：250円 連絡先：松田（090-1138-5776）

